

WITH FLOWERS ～暮らしに花を～

室内で植物を楽しむ「スワッグ」

12月9日(木)に「スワッグを作ろう!」というイベントを開催しました。33人が参加し、ドライフラワー等を使ってオリジナルのスワッグを作りました。

ところで、スワッグとはどんなものか、ご存じですか?ドイツ語で「壁飾り」という意味の言葉で、花や枝を束ねて壁に掛ける飾りのことです。束ねるものは自由で、ドライフラワーなら作った時の美しさが長持ちしますし、生花なら、時間とともに水分が抜けて色が変わっていく様子を楽しむことができます。

室内で植物を楽しみたいけれど、鉢植えの水やりや花瓶の水替えの手間が気になる、という人は、飾ったまま長期楽しむことができるスワッグがおすすめです。

●スワッグ作りのポイント

植物の配置 壁に掛けるので、背面は平らになるように。長いものを後ろに、手前に向かってだんだん短い植物を重ねると、どの植物もしっかり見えるようにまとまります。

しっかり束ねる 特に生花の場合は水分が抜けると茎が縮むので、壁に掛けたときに抜けないように、ぎゅっと強く束ねます。

問地域支援課 花いっぱい推進室
☎21-1435 問23-2236



▲講師 松永泰年さん



梶田先生と振り返る思い出の一コマ

1974(昭和49)年、市制施行20周年を記念して市の木は「松」、市の花は「ぼたん」と制定されました。選定にあたっては市民投票を行い、いずれも投票数の7割以上を獲得した「松」と「ぼたん」に決定しました。木の候補は他に「イチョウ」「ケヤキ」「ナラ」などがあり、花の候補は「ツツジ」「ヤマユリ」「フクジュソウ」などがありました。

市民が自然とのふれあいを大事にするために市の象徴として指定されたんだよ!

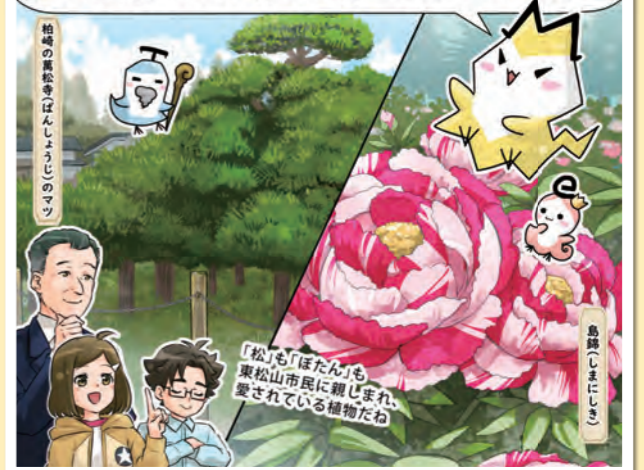


市のマスコットキャラクターも「松」と「ぼたん」をイメージしているんだよ

市の木「松」・市の花「ぼたん」制定

1974(昭和49)年

松は長命なことから「不老長寿の木」として知られ、ぼたんは古くから「花の王様」と呼ばれているよ



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。

ヨアラ通信

まついちまつり

まつやまだいちしょうがっこう 松山第一小学校



11月28日(日)、まついちまつり「VSまついち」が開催されました。

子どもたちが卓球ラケットでボールを打ち、穴に入るとスタッフが「チョレイ!」と掛け声をかける「チョレイスマッシュ」や、蹴ったボールで、動く目標を倒す「キッキングスナイパー」など、5つのアトラクションで子どもたちを楽しませていました。

子どもたちは、先生チームを含む17チームに分かれ、少しでも多くの得点を得るためにチーム一丸となり真剣に楽しんでいました。



ひがしつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』

文化財の保存 ～仏像の修理～

今回は、文化財を未来の市民に残していくための取組を紹介します。取り上げるのは仏像です。仏像は、人々の篤い信仰心のもと大切に伝えられてきましたが、長い年月が経つとともに修理が必要となります。ただし、注意しなければならないのは、指定文化財の仏像は、新品に戻すような修理をするのではなく、これ以上壊れることを防ぐ現状維持のための修理をするということです。

また、修理することにより新たな発見があることもあります。国指定重要文化財「等覺院阿彌陀如来坐像」は昭和26(1951)年の修理の際、建長5(1253)年に修理された銘が見つかり、市指定文化財「泉蔵寺十一面観音立像」は平成9(1997)年の修理で、仏師・関係者の名と关正3(1575)年に制作したという墨書銘に加え、前身のものと思われる仏像の頭部の断片が見つっています。

右の写真は平成22・23(2010・2011)年の市指定文化財「世明寿寺千手観音立像」の修理の際の写真です。大切にされ、修理が繰り返されていたことが分かりました。全体の汚れや埃を清掃し、解体した部材を洗い、失われた部分は新しくするなどして美しくなりました。



修理前
汚れや埃、亀裂や隙間などが見られ、欠損部分もあります。



鉄の釘や鋸を除去し、欠損部は新補しました。



修理銘札を内割りに納めました。



修理後
表面を古色仕上げとし、光背・台座を新造して修理が完了しました。

問埋蔵文化財センター
☎27-10333 問27-10334